

心を一つに

今年も5月末から6月にかけてあらゆる種目で全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の県予選が行われています。6月4日（日）は三田市の県立高校へ**女子バレーボール部**の応援に行ってきました。バレーボールはコートに立つ6人が想いを込めてボールをつなぎ、得点が入れば全員が集まって笑顔で喜びを共有して盛り上げ、ミスをして失点した時には励まし合い、声を掛け合って立て直す。1人目が失敗しても2人目、3人目がカバーをする。最後にアタックした後も残りの5人がブロックや跳ね返りをフォローする。バレーボールは助け合いであり、思いをつなぐ思いやりのスポーツと言われる所以です。

当日の試合でも**懸命にボールをつなぐ姿が見られ、思わずこぶしを握りしめる場面が何度かありました**。3回戦、1セット目は常にリードを保ち、先取することができましたが、続く2セット目はリードしていたものの後半追い上げられ、20対18の2点差になりました。昨年度の大会で私学の強豪相手に1セット目は先取したものの2セット目、3セット目と奪われ逆転負けを喫した試合が頭をよぎりました。しかし、今回は**キャプテンを中心に悪い流れを断ち切るため、チームを鼓舞する声かけを行うとともに、セッターのコントロールによる多彩な攻めと決定率の高いエースのスパイク、粘り強く拾うレシーブ力を武器に**セットカウント2-0で見事勝利しました。チームとしての成長を感じた瞬間でした。続く4回戦も2-0で勝利し、県ベスト16となりました。9日はベスト8、ベスト4を目指した試合が行われます。

4日（日）の試合での課題を、9日（金）までの残り少ない日々の集中練習で修正し、試合当日は**コートもベンチもチーム全体が心を一つにし、全員バレー**で次戦に臨んでほしいと思います。







